
大阪大学グローバル COE「くらしと好みの満足度」調査（アメリカ調査）について

「くらしと好みの満足度」調査（アメリカ調査）において、複数調査年にわたり同一個人ではないと思われるサンプルが相当数あり、同一個人による継続パネル調査としての利用に問題がある可能性が確認されました。このことについて、現時点までに調査および検証を行った結果、確認されたことについて、以下のとおりご報告いたします。

- アメリカ調査は、同一世帯による継続調査として実施されており、各調査年のデータセットに回答者の識別番号として含まれている番号は、世帯の識別番号となります。同一識別番号であることは、必ずしも同一個人であることを意味するものではありません。
- 前年調査と当年調査による連続する 2 年分の調査について、個人単位での不一致の可能性のある回答者数および回答者比率を、下表に示しております（青色でハイライトしている「不一致の観測値」および「不一致の回答者の比率」）。とりわけ、2012 年度と 2013 年度で同一個人と考えられない回答が急増しています。
- 個人単位でのサンプルの不一致は、調査パネルの収集方法や、パネル属性情報の収集時期、同一世帯内の別の構成員が回答している場合などの理由で生じているものと推測されます。

データをご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。今後、個人単位で不一致と考えられる回答者の識別番号等に関する情報をご提供いたします。また、データ利用上の留意事項等に関する情報を本ホームページにて掲載し、引き続きご報告とご説明を申し上げます。

個人識別における不一致の可能性のある回答者について

Year		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
Job Number		#61646	#137074	#157590	#176202	#191389/191390	#205677	#222240	#226908	#231221
サンプルサイズ(A)		4979	3120	4711	3508	10708	7046	5313	3653	5079
当年調査(t)で回収できた前年調査(t-1)の回答者数(B)	前年調査の回答属性と比較可能な観測値。前年調査と一致すると考えられる世帯観測値数(PANEL_Dが一致)	—	2441	1560	2303	2223	5697	4238	3027	2659
不一致の観測値(C)	前年調査と性別が不一致、もしくは年齢が±2歳以上の差がある観測値	—	0	6	1	3	12	12	140	938
不一致の回答者の比率	(C)/(B)	—	0%	0.4%	0.04%	0.1%	0.2%	0.3%	4.6%	35.3%

個人識別における不一致の可能性のある回答者の内訳

性別が不一致				6	1	0	2	6	23	250
年齢が不一致				0	0	3	10	1	79	280
性別および年齢が不一致				0	0	0	0	5	38	408

個人識別における不一致の可能性のある回答者の特定に関する手順

- 性別と年齢に関する調査票への回答に基づいて確認しています。
- 前年調査と当年調査にいずれにおいても、調査票に性別の回答があった、もしくは年齢の回答があった場合について、不一致の観測数を計算しています。前年調査もしくは当年調査において、性別もしくは年齢の回答が欠損値である場合は、属性上の比較ができないため、不一致の観測値には含めていません。
- 2006年調査では、性別の質問がないため、(調査会社が管理する)想定回答者の性別情報と比較しています。そのため、性別と年齢に加えて、誕生月の回答情報も比較し、「年齢が±2歳以上もしくは性別が不一致で、かつ誕生月が不一致」のサンプルを不一致の観測値としています。